

# Rotary Club of Satte Chuo



2020-2021年度RIテーマ

## ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

会長 菅野 秀光

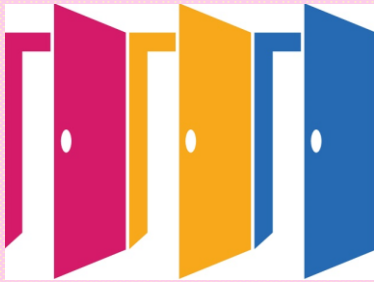
事務所；埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内

幹事 昆 裕司

〒340-0156 TEL &amp; FAX 0480-44-0056

例会日；毎週火曜日19：30～20：30

例会場；G-Five 1階会議室



国際ロータリー会長

第2770地区 ガバナー

2021年 1月26日 火曜日

ホルガー・クナーク氏(ドイツ)

中里公造氏 (川口モーニングRC)

第1047回例会

No.19

## [開会]

## [開会点鐘]

## [会長挨拶] 菅野 秀光会長

皆様こんばんは。まだコロナ禍は、続いています。十分感染にご注意ください。さて本日は、昆幹事による卓話例会です。内容につきましては、とても興味深い「歯周病とアルツハイマー型認知症との関係」です。そろそろ気になる年齢ですので本日は、しっかりと勉強させて頂きたいと思っております。実は他クラブにも案内をしようと思いましたが、面倒なのでメンバーだけとしました。今日よりしっかりと歯磨きをして、認知症にかからぬよう努力したいと思います。これを持ちまして会長挨拶といたします。



## [委員会報告]

## 会長エレクト 八木泰典会員

次年度の組織作りでラインや電話で皆様にご連絡を差し上げておりますが、温かいお返事をいただき感謝しております。一日に数人しか連絡を取れませんので多少時間のかかることと思っておりますが皆様と連絡を取り合いたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



## Zoomに関する報告 菅野秀光会長

自分のパソコンから開会しなくても、いつも送っておりますアドレスからいつでも Zoom を使えるようです。委員会等にも使えると思っておりますので是非活用していただければと思います。



## [本日の例会]

会員卓話 昆 裕司会員

テーマ；歯周病と認知症

皆さん、こんばんは。改めまして宜しくお願いします。今日は卓話なのでまじめな話になりますが、早めに終わる予定ですので宜しくお願いします。

パワーポイントの資料をお手元に配信しておりますが皆さん、ご覧になることができますでしょうか？画面共有して始めたいと思っております。



## 歯周病と認知症

### 原因と治療法

- ・アルツハイマー病は、アミロイドβというたんぱく質が脳内に蓄積され、二十数年を経て発症すると考えられています。
- ・歯周病は、50才代からほとんどの人が罹患する慢性疾患であり、全身性に慢性炎症が継続する病態と考えられています。

- 従来から歯周病は認知症の危険因子あるいは増悪因子であると疫学研究成果報告がありましたが、両者の因果関係を分子レベルで明らかにした研究はありませんでした。
- 今回、名古屋市立大学大学院医学研究科道川誠教授らによる研究、「歯周病で加速するアルツハイマー病分子病態と認知機能障害」で因果関係が明らかにされました。

- 実験内容
- 歯周病に罹患したマウスと対照マウスを3ヶ月間飼育し、両者の脳内に生じる認知症の時に多くなるアミロイドβの蓄積並びに脳内レベルを定量しました。
- 結果、歯周病に罹患したマウスの脳内では、対照マウスに比べてアミロイドβの量が著明に上昇し、脳内の炎症分子の上昇が認められました。
- このことから、歯周病という慢性炎症が、脳内に波及し、それがアルツハイマー病の原因因子であるアミロイドβの脳内レベルを上げ、認知症を増悪させていることがわかりました。

- 慢性歯周病の原因であるP. gingivalis(ポルフィロモナス・ジンジバリス)という菌がアルツハイマー型認知症患者の脳内から検出されたそうです。



- ※ サイトカインとは、ホルモン様の低分子タンパク質である。細胞同士の情報伝達作用を持ち、特異的な受容体に結合することで、免疫反応の増強、制御、細胞増殖、分化の調節などを行う。特定の内分泌組織ではなく、様々な種類の細胞によって合成されること狭い範囲の近傍の細胞にのみ作用することがホルモンと異なる点である。

- 歯周病の治療・口腔ケアによってアルツハイマー病の発症予防や症状の進行を抑えることができることが期待できます。
- 歯周病は、50才代からほとんどの人が罹患する慢性疾患であり、全身性に慢性炎症が継続する病態と考えられています。

- ○歯周病で歯を失うことも、アルツハイマー病が悪化します。
- 歯周病で歯を失うことも、アルツハイマー病と無関係ではありません。アルツハイマー型認知症の発症には脳の中の神経伝達物質の減少が関わっていると考えられており、神経伝達物質は噛むことによる刺激が脳に伝わることで増えるからです。また、噛むことが脳を活性化することもわかっています。つまり、歯周病によって歯を失うことが、アルツハイマー型認知症の引き金にもなりかねないということなのです。

- アルツハイマー型認知症の人は健康な人よりも歯の本数が少なく、また、残っている歯が少ないほど脳の委縮が進んでいたということが報告されています。

- 当院でも、歯周病の治療や口腔ケアに積極的に取り組んでおります。

- 歯周病ではないかな？歯磨きがうまくできない！と思われる方はぜひ、一度相談に来られてください。

- ◎治療法

- 「低出力パルス超音波治療」国際医療福祉大学大学院副大学院長の 下川宏明先生が考案
- アルツハイマー病は15年間で3万人から18倍の53万人に増加。進行性の神経変性疾患で、最近の研究で微小循環障害を起こしている血管病である。照射後認知症の原因のアミロイドβが顕著に減少した。拒絶反応、副作用ほぼ無し。
- 2018年から「治験開始。現在40人。残念ながら中等度と重度は対象外。

- 照射する超音波により、血管新生誘導して血流を増やします。
- マウスの実験では、認知機能低下の抑制効果を確認しています。
- 今後は治療だけでなく予防としても考えていますと下川教授の考えです。



[出席報告]

	会員数	出席免除	出席者数	MU	出席者数計	出席率
本日の例会	23	6	9	0	9	52.94%
前回の例会	23	6	11	0	11	64.71%
前々回の例会	23	4	12	0	12	63.16%

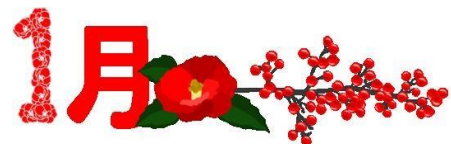
[スマイルボックス報告]

● 昆 裕司 会員

本日は、卓話宜しく申し上げます。

本日の合計	¥1,000
今年の合計	¥69,430

[閉会点鐘]



例会の出席は、ロータリアンに課せられた最低の責任です。欠席の連絡は、必ずお願い致します。

クラブ事務所 TEL&Fax 0480-44-0056

公共イメージ委員会

森田 心 中田 盛夫